

大規模震災発生時の対応について（台風等の災害発生時もこれに準ずる）

1 平素より確認しておくこと

- (1) 避難場所の確認：学校，自宅，登下校中
 - ・天井など上方から物が「落ちてこない」
 - ・家具などが「倒れてこない」
 - ・キャスター付きの家具などが「移動してこない」
- (2) 連絡方法の確認：保護者，学校
- (3) 正確な情報の収集：電池式ラジオの活用
テレビや携帯電話は停電すればしばらく使えなくなる。

2 地震に遭遇したら

- (1) 学校にいる時に発生した場合
 - ① 自己の安全を確保（鞆等で頭部の保護，靴やスリッパで足部の保護）
 - ② 二次災害の防止（電気，ガス等を確認して火災を出さない）
 - ③ 揺れがおさまったら教職員の指示に従いグラウンド等安全な場所に避難する。
→クラス毎に整列して速やかに安否確認をする。
- (2) 登下校中に発生した場合
 - ① 自己の安全を確保する。交通機関の利用時は乗務員等の指示に従う。
 - ② 学校，自宅，近隣の避難場所の中より，安全に行ける場所へ避難する。
→学校以外へ避難した場合はできるだけ早く安否を家庭と学校へ連絡する。
- (3) 学校外の諸活動（校外での部活動，修学旅行等）に発生した場合
 - ① 自己の安全を確保し，教職員の指示に従う。
 - ② 最寄りの安全な場所に避難し，家庭と学校に安否を連絡する。
- (4) 自宅等で発生した場合
自己の安全を確保する。→できるだけ早く安否を学校に連絡する。

3 連絡方法

- (1) 学校→生徒（保護者）
 - ① 携帯メール（あんしんメール）で送信（未登録者には電話で確認）
 - ② 災害伝言ダイヤルに録音確認方法
「171」-「2」-「052-481-9471」と操作すると本校よりの伝言を聞くことができる。
 - ③ 本校 HP に掲載
- (2) 生徒（保護者）→学校
電話で連絡電話がつかない場合は，災害伝言ダイヤルを利用する。
「171」-「1」-「自宅の電話番号」と操作し，状況等を録音する。

※本校は「住民事前避難対象地域外」です。

津波浸水想定区域内（高等学校）

学校施設等に被害あり
又は
大津波警報発表

各校のマニュアル
に従い、避難開始

南海トラフ西側
で地震発生
↓
命を守る
最善の行動

学校施設等に被害なし
かつ
大津波警報なし

情報収集
授業継続

南海トラフ地震臨時情報（調査中）発表

避難継続

授業継続
情報収集

南海トラフ地震
臨時情報
（巨大地震警戒）

南海トラフ地震
臨時情報
（巨大地震注意）

南海トラフ地震
臨時情報
（調査終了）

南海トラフ地震
臨時情報
（巨大地震警戒）

南海トラフ地震
臨時情報
（巨大地震注意）

南海トラフ地震
臨時情報
（調査終了）

住民事前避難
対象地域内

住民事前避難
対象地域外

住民事前避難
対象地域内

住民事前避難
対象地域外

・警報解除まで避難継続
・警報解除後、原則帰宅
・1週間臨時休業（原則）

・警報解除まで避難継続
・警報解除後、巨大地震の発生に留意し
つつ原則授業再開（部活無）
・校長判断で臨時休業も可能

・警報解除まで避難継続
・警報解除後、巨大地震の発生に留意し
つつ原則通常の教育活動

・警報解除まで避難継続
・警報解除後、通常の教育活動に戻る

・1週間臨時休業（原則）

・巨大地震の発生に留意しつつ授業を継続（部活無）
・校長判断で臨時休業も可能

・巨大地震の発生に留意しつつ通常の教育活動を継続。

・通常の教育活動を継続

＜該当市町村＞
名古屋市長久市 豊橋市 半田市 豊川市 津島市 碧南市 刈谷市 安城市 西尾市 蒲都市 常滑市
東海市 大府市 知多市 高浜市 田原市 愛西市 弥富市 あま市 蟹江町 飛鳥村 阿久比町 東浦市 南知多町
美浜町 武豊町 豊田市（土砂災害事前避難対象地域内）